

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【公表番号】特表2014-504534(P2014-504534A)
 【公表日】平成26年2月24日 (2014.2.24)
 【年通号数】公開・登録公報2014-010
 【出願番号】特願2013-552256(P2013-552256)
 【国際特許分類】

A 4 7 L 9/28 (2006.01)

A 4 7 L 9/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/28 E

A 4 7 L 9/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月17日 (2014.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自律真空掃除機であって、
 シャーシと、
 前記真空掃除機を表面上で支持するための牽引手段と、
 前記牽引手段を駆動するための駆動手段と、
 前記駆動手段を制御して掃除面にわたって前記真空掃除機をガイドするように構成される制御システムと、
 を備え、

前記真空掃除機は、前記掃除面と対向する汚れ空気入口を有する掃除機ヘッドと、前記シャーシに支持され且つ該シャーシから取り外し可能な分離装置であって、前記汚れ空気入口を経由して前記分離装置に流入する空気流からデブリを分離するために前記掃除機ヘッドと連通する分離装置と、を更に備え、

前記分離装置は、第 1 の上流側サイクロンと、該第 1 のサイクロンの下流側に配置され互いに並列に配列される複数の第 2 のサイクロンとを備え、

前記サイクロン分離装置は、長さ方向軸線が前記シャーシに対して実質的に垂直に配向された状態で前記シャーシ上に支持される、自律真空掃除機。

【請求項 2】

前記サイクロン分離装置は、長さ方向軸線が前記シャーシに対して実質的に平行に配向された状態で前記シャーシ上に支持される、請求項 1 に記載の自律真空掃除機。

【請求項 3】

前記分離装置の入口は、前記掃除機ヘッドの入口の真上に位置決めされる、請求項 2 に記載の自律真空掃除機。

【請求項 4】

前記複数の第 2 のサイクロンは、前記第 1 のサイクロンの長さ方向軸線を中心に半径方向に配列される、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の自律真空掃除機。

【請求項 5】

前記上流側サイクロンは略円筒形状であり、前記複数の下流側サイクロンは裁頭円錐形

状である、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の自律真空掃除機。

【請求項 6】

前記サイクロン分離装置は、前記シャーシに対して取り外し可能なコンテナに収容され、使用時、掃除機ヘッドを通して吸い込まれる汚れ及びほこりを収集する、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の自律真空掃除機。